

形成事業計画へのアンケート結果反映ポイント

江別市生涯活躍のまち形成事業計画

第3章 計画対象区域における事業・取組

(1) 中高年齢者や障がい者の就業、生涯にわたる学習活動への参加その他の社会的活動への参加の推進を図るために行う事業に関する事項

【就業の推進】

<アンケート結果>

(1) 現在の就労状況 (資料1)江別市生涯活躍のまちに関する調査結果報告書P24) 無職が約半数。(現役世代である50代では、男性の約66.3%が正社員、女性の約46.6%が非正社員として働いている。)(P26)

(2) 生きがい就労について (P33)

生きがい就労に関心がある割合は63.4%＝半数以上 (P33)

(「とても関心がある」15.7%、「ある程度関心がある」47.7%)

(具体的な関心分野) (P35)

①カフェなどの地域住民が集まる場所でのサービス	33.5%
②農業	31.3%
③食品の加工や販売	27.7%
④教育・生涯学習	18.6%
⑤障がい者などの生活支援サービス	14.4%
⑥保育サービス	12.0%

(3) 期待される江別市の取組 (P38)

「希望者の要望や適性に応じて、就労の場に関する情報を提供・紹介する相談窓口を設置する」35.9%

<ポイント>

- ①生きがい就労への関心分野を踏まえた就業の場の提供が必要。
- ②無職が約半数であるにも関わらず、生きがい就労に関心がある割合は半数以上であることから、就労相談窓口を設けるなどして、無理なく働ける仕事と中高年齢者をマッチングさせる仕組み作りが必要。
- ③生きがい就労に限らず、生活のための就労を含め幅広いニーズに応えるため、ハローワークと連携し、拠点エリア外での就労についても情報提供やマッチングを行う。

【生涯にわたる学習活動や社会的活動への参加】

＜アンケート結果＞

＜学習活動＞

(1) 地域活動等への今後の参加意向（参加したい地域での活動等）（P 30）

「市民大学などの公開講座」

「参加したい」 10. 8%、「たまに参加したい」 19. 5%

(2) 大学や学生との連携意欲（P 37）

「大学の公開講座への参加」 26. 5%

＜社会的活動＞

(1) 今後5年間の働き方と暮らし方（P 31）

「趣味など自分の好きなことをして生活したい」 55. 9%

(2) 地域活動等への今後の参加意向（参加したい地域での活動等）（P 30）

	「参加したい」	「たまに参加したい」
「趣味活動」	22. 8%	18. 5%
「健康づくり」	21. 9%	21. 8%
「スポーツ活動」	16. 5%	18. 2%

(3) 期待される江別市の取組（P 38）

- ①「高齢者だけではなく多世代が参加・交流できるイベントや活動機会をつくる」 39. 2%
- ②「健康にいきいきと暮らし続けるための知識を習得するセミナー等を開催する」 34. 4%
- ③「希望者の要望や適性に応じて、ボランティア団体やイベント等の情報を提供・紹介する相談窓口を設置する」 25. 4%

(4) 自由回答（P 42～）

（高齢者のための活動）

- ①「歩かないでいるうちに足が弱って転び、寝たきりになったり歩行困難になる老人が減るような「何か」アイデアも必要ではないでしょうか？」
- ②高齢者向け（65～70才以上）のスポーツやトレーニング施設を改善し、高齢者向けの健康維持や身体機能維持に役立つ取組が欲しい。医療費を削減させるような取組を望む。

- ③あまりお金がかからず、高齢者が集い楽しく過ごせる場所がたくさんできると良いと思います。

(多世代交流)

- ①「多世代が江別市に住んで良かったと思えるまちにしたいと思います。」
- ②「障害のある方もない方も、認知症のある方もない方も、赤ちゃんと若いママ・パパも高齢のおじいちゃんおばあちゃんも区切りなく一緒に教育を受けたり、遊んだり、学んだり発表したり、とにかく分けなくて共生して欲しい」
- ③「若者と年配者の交流の場があると良いと思います。」
- ④「生活環境等に差別なく、多世代が生涯活躍のまち構想に参加できるように、今後の事業発展、発信に期待します。」

(集いの場の提供)

- ①「年齢を問わず、ほっとするような自由な感じのカフェのような所」
- ②「いつでも誰でも行けて、自由に過ごせる空間。」
- ③「軽食など楽しみながら、そこに行けば誰とでも話し合える自由な雰囲気のある「話し合いルーム」としての場所。」

(ボランティア)

- ①「年はいってもボランティアできることあると思いますので、互いに助け合えると良いと思います。」
- ②「何かできる事があればお手伝いしたいと思います。」
- ③「近くに住んでいたら、地域ボランティアで参加したいとも思います。」
- ④「・・・何とか江別に数校ある大学の学生さん達との連携を持ってボランティア活動を持てたら・・・と望んでおります。」

<ポイント>

- ①学習活動については、大学などの公開講座を中心に、学習機会を提供。健康づくりにつながるようなセミナーなどにも関心が寄せられている。
- ②社会的活動については、趣味を楽しむためのサークル等の活動や、スポーツなどの健康づくりができる場の提供が必要。
- ③高齢者だけで集まるのではなく、多世代との交流ができる仕掛けや世代を超えて集える場の提供も必要。
- ④ボランティア団体やイベント等の情報を提供・紹介する相談窓口が必要。

(2) 中高年齢者向け住宅に関する事項

<アンケート結果>

(1) 要支援・要介護認定 (P 9)

「受けていない」 81.9%

「受けている」 10.3% (回答者の同居者も含む)

(2) 現在の住まい (P 11)

「一戸建て」 73.0%

(3) 現住居の継続意志 (P 13)

「今の住居に住み続けたい」 72.3%

「転居したい」 13.8%

(4) 転居後の住居形態 (P 23)

「アパート・マンション」 46.8%

「サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向け共同住宅」 23.9%

「一戸建て」 11.9%

<ポイント>

- ① 転居先として、「アパート・マンション」や「サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向け共同住宅」など、「一戸建て」よりも共同住宅を求めている傾向が強い。
- ② 介護が必要な方のための住宅の他に、高齢者であっても元気に暮らせる人に適した住宅が必要。

(6) 地域住民が生涯にわたり活躍できる魅力ある地域社会の形成を図るために行う事業に関する事項

<アンケート結果>

(1) 大学との連携

「大学や学生との連携意欲」(P 37)

- | | |
|------------------------|-------|
| ①「大学の公開講座への参加」 | 26.5% |
| ②「大学が主催するイベントへの参加」 | 17.7% |
| ③「学生の研究活動への協力・参加」 | 14.7% |
| ④「学生と連携したボランティア活動への参加」 | 12.9% |

(2) 自治会との連携

「地域活動等への参加」(P 27)

・自治会活動

現在：「参加している」39.3%(P 27)

(「参加している」19.6%、「たまに参加している」19.7%)

今後：「参加したい」37.3%(P 30)

(「参加したい」11.5%、「たまに参加したい」25.8%)

<ポイント>

- ①大学の公開講座やイベント等の様々な活動に参加できるよう、大学や学生と連携。
- ②自治会活動への参加を希望する方がスムーズに参加できるよう、自治会と連携。